

お客様各位

ナニオンテクノロジーズジャパン株式会社

Tel: 03-6555-3773

Email: info@nanion.jp

Membrane Physiology Symposium Japan 2025のご案内

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、ナニオンテクノロジーズジャパン株式会社は東京大学先端研の加藤英明先生の研究室と共催で、Membrane Physiology Symposium Japan 2025を、下記の通り開催いたします。

本シンポジウムが産学の域を超えた意見交換の場となり、イオンチャネルをはじめとした膜たんぱく質研究および再生医療研究の発展に貢献できることを切に願っております。

シンポジウム後には、ささやかながら懇親会も開催いたします。また、翌日には弊社各種製品を使用した電気生理のワークショップも開催予定です。

ご多忙の折とは存じますが、是非ご来場くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

日 時: 7月17日(木) 10時～17時00分頃(9時30分 受付開始)

場 所: 東京大学先端科学技術研究センター 4号館2階大講堂

※昼食はお弁当のご用意がございます

懇親会: 17時30分頃開始

会 場: ape cucina naturale (同キャンパス内)

参加費: 無料

参加登録は以下URLかQRコードよりお願いいたします。

<https://forms.gle/xWdEpdLPPkRS6kwC7>



ご不明な点がございましたら、下記担当までご連絡ください。

ナニオンテクノロジーズジャパン株式会社

担当: 岡 貴之

Tel: 03-6555-3773, Email: Takayuki.oka@nanion.jp

以上

Agenda

日時:2025年7月17日(木) 10:00~17:00(9:30 受付開始)

場所:東京大学先端科学技術研究センター 4号館2階大講堂

9:30 - 9:50

受付開始

9:50 - 10:00

岡 貴之

Nanon Technologies Japan

Opening Remarks

10:00 - 10:30

桂林 秀太郎 先生

福岡大学 薬学部 臨床疾患薬理学研究室

Environmental Factors Influencing Synaptic Transmission:

A Glial Perspective

10:30 - 11:00

久保田 智哉 先生

大阪大学大学院医学系研究科 臨床神経生理学

The functional analysis of the mutant channels associated with neuromuscular channelopathies

11:00 - 11:15

Coffee Break

11:15 - 11:45

加藤 英明 先生

東京大学 先端科学技術研究センター 構造生命機能工学分野

High-throughput engineering of optogenetics tools

11:45 - 12:15

Dr. Alexandre SANTINHO

Oria Bioscience

Next-generation organelle preparations enable high-throughput electrophysiology studies of intracellular membrane proteins.

12:15 - 13:30

Lunch break / Nanion KK 東京ラボ紹介(ご希望者対象)

13:30 - 14:00

Dr. Chai-Ann Ng

Victor Chang Cardiac Research Institute

APC for enhanced variant classification and penetrance stratification for SCN5A-related Brugada Syndrome

14:00 - 14:30

宮岡 佑一郎 先生

東京都医学総合研究所 再生医療プロジェクト

Establishment of tetraploid iPS cells and its application to cardiomyocyte differentiation

14:30 - 14:45

Coffee break

14:45 - 15:15

Dr. Will Seibertz

Nanon Technologies GmbH

Uncovering atrial fibrillation mechanisms with high-throughput electrophysiological techniques

15:15 - 15:45

浜本 晋 先生

東京大学大学院農学生命科学研究科

応用生命工学専攻 分子育種学研究室

Electrophysiological measurement of ion transport proteins in microbial and organelle membranes and utilization as heterologous expression system

15:45 - 16:00

Coffee break

16:00 - 16:30

秋好 健志 先生

慶應義塾大学 薬学部 臨床薬学講座/医学部病院薬剤学教室

Determination of Intrinsic Clearance Per Transporter Molecule for Plasma Membrane Transporters

16:30 - 17:00

Martin Ziller

Nanon Technologies GmbH

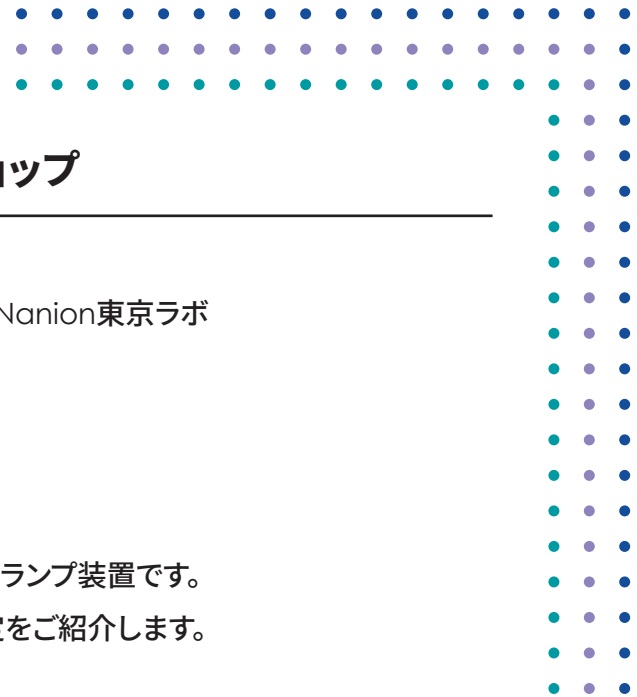
Impedance-based cellular profiling: A High-Resolution Window into Cellular Behavior and Drug Response

17:00 - 17:10

Closing Remarks

17:30

懇親会 | 会場: ape cucina naturale (同キャンパス内)



電気生理実験ワークショップ

日 時: 7月18日(金)10時~15時00分(予定)

場 所: 東京都目黒区駒場4-6-1 駒場オープンラボラトリー Nanion東京ラボ

内 容: 弊社各種製品を使用した実際の測定紹介や体験等

定 員: 10~20名程度

使用予定製品

Port-a-Patch	世界最小の半自動パッチクランプ装置です。 実際の細胞を使用した測定をご紹介します。 希望者は体験も可能です。
Patchliner	8チャンネルの自動パッチクランプ装置です。 実際の細胞を使用した測定をご紹介します。
SyncroPatch 384	384ウェル同時測定可能な自動パッチクランプ装置です。 実際の細胞を使用した測定をご紹介します。
SURFE ² R N1	ラベルフリーのトランスポーター活性測定装置です。 実際の膜サンプルを使用した測定をご紹介します。
Orbit mini	4チャンネルの脂質二分子膜測定用装置です。 グラミシジンを使用したシングルチャネル記録をご紹介します。 希望者は体験も可能です。
CardioExcyte 96 FLEXcyte 96	iPS心筋細胞用のインピーダンス／収縮力測定装置です。 装置紹介やデータ紹介を行う予定で、実際の細胞を使用した 測定を行えるかは現在検討中です。
AtlaZ	新製品のノンラベル細胞アッセイシステムです。 装置紹介やデータ例のご紹介を行う予定です。
Vesicle Prep Pro	巨大単層リポソーム作製装置です。 実際にリポソームを作製し、その様子をご覧ください。

※ラボスペースに限りがございますので、参加希望人数によっては午前と午後の
2部に分ける可能性がございます。

※ワークショップ参加登録者には、詳細が確定した段階で改めて連絡させていただきます。